

「千葉市ヤングケアラーに関する実態調査報告書」を公表しました

千葉市では、ヤングケアラーに関する実態調査を実施し、報告書を取りまとめたので、お知らせします。

1 調査の目的

学校や家庭での生活の中で抱える悩みや困りごとなどに対する設問を通じ、支援が必要と思われる児童生徒（ヤングケアラー）の状況を調査するとともに、今後それらを解決するために必要な支援策を検討するための基礎資料として、調査を実施した。

2 調査対象者

千葉市立学校の小学5年、中学2年、高校1・2年の児童生徒

3 調査方法

各学校を通じて児童生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童生徒本人が原則 Web アンケートフォームにて回答。

4 調査期間

令和4年1月24日（月）～2月7日（月）

5 回収状況

対象	配布数	回収数	回収率
小学生調査（小学5年生）	7,879 件	1,500 件	19.0%
中高生調査	9,112 件	1,477 件	16.2%
中学2年生	7,675 件	1,167 件	15.2%
高校1・2年生	1,437 件	294 件	20.5%
※学年回答無し	—	16 件	—
合計	16,991 件	2,977 件	17.5%

6 公表方法

ア 千葉市ホームページに掲載

【URL】 https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kateishien/youngcarer_chosa.html

イ 市内施設での閲覧（令和4年6月7日（火）から）

こども家庭支援課（市役所1階）、市政情報室（中央コミュニティセンター2階）、市立図書館

7 今後の取り組み

今年度、ヤングケアラーに関する認知度向上の取り組みとして、子どもやケアを必要としている家族に関わることの多い、福祉、介護、医療、教育機関などの関係機関の職員を対象とした、ヤングケアラーに関する研修を実施します。

また、本調査結果や、今後の国の動向などを十分に注視しながら、本市におけるヤングケアラーに対する支援策について、具体的な検討を進めていきます。

8 添付資料

資料1 千葉市ヤングケアラーに関する実態調査報告書

資料2 千葉市ヤングケアラーに関する実態調査報告書（概要）